

<プレスリリース >

報道解禁 2015年9月28日午後6時（日本時間）

一般社団法人 日本抗加齢医学会
国際ジャーナル委員会

ネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）と日本抗加齢医学会（JAAM）より
npj Aging and Mechanisms of Disease が創刊します

報道関係者各位

npj Aging and Mechanisms of Disease の創刊号が、2015年9月28日午後6時（日本時間）に創刊されます。これは、ネイチャーパートナージャーナルのシリーズの中で最新のオンラインのオープンアクセスジャーナルで、本会とネイチャー・パブリッシング・グループ（NPG）とのパートナーシップのもとに創刊されるものです。サイトアドレス：<http://www.nature.com/npjamd/>

「*npj Aging and Mechanisms of Disease* を、今の時代に、日本発で創刊できることは、本当に意味のあることだと考えています。先進国では高齢化が急速に進み、エイジングの研究や抗加齢に関わる研究へ求められていることは非常に大きくなっています。中でも、日本の人口は世界に類のない長寿化とそれに伴う高齢化を経験しつつあります。このジャーナルがそういった時代のニーズにマッチしながら、真に科学を追求していければと考えています。エイジング研究はこれから何年も、注目を集める研究となっていくでしょう。」と編集長の坪田一男教授（慶大眼科・日本抗加齢医学会理事長）は語り、このジャーナルを世界のエイジング研究の中心的位置づけにしようという熱意のもとに編集を続ける方針です。

ジャーナルの編集委員会には、サーチユイン遺伝子や NAD ワールドの研究で知られる今井眞一郎教授（Washington University）やヨハン・オーベックス教授（Ecole Polytechnique, Federale de Lausanne）、アメリカのエイジング研究の権威であり、運動から脳機能の基礎から臨床まで広い研究を手がけるマーク・マトソン博士（National Institute of Aging）、ロンドンでの大規模疫学研究を手がけ、幸せと寿命についての関係を解明しつつあるアンドリュー・ステップトー教授（University College of London）、さらに時計生物学の分野で斬新な研究を続けるサッチダナンダ・パンダ教授（Salk Institute）、さらには、日本抗加齢医学会の理事より山嶋達也教授（東大耳鼻科）、南野徹教授（新潟大学内科）が入り、さらに編集委員にはサーチユイン遺伝子の研究で世界を牽引するデービッド・シンクレア教授（ハーバード大）など多くの各分野の専門家が名を連ねています。これは正に幅の広いエイジング研究をカバーするこのジャーナルを象徴しています。詳細は、右記サイトでご確認ください。<http://www.nature.com/npjamd/>

創刊号のハイライト

Editorial: Aging science comes of age

Kazuo Tsubota

エイジング研究は、この20年で飛躍的な発展を遂げ、今では代謝や時間生物学との関わり、さらには「幸せ」とエイジング、寿命との関わりなどにも研究の関心が及ぶようになってきました。Editor-in-Chief（編集委員長）が最先端のエイジング研究の波動を網羅的に解説します。

Late-onset dementia: a mosaic of prototypical pathologies modifiable by diet and lifestyle

Mark P Mattson

人類が直面しているエイジングにおけるもっとも大きな課題、アルツハイマー病の新しい病態の考え方'モザイク状の神経病理学的特徴-' についての、NIA(National Institute on Aging)在籍の世界的な神経学者、Mark Mattson先生による総説です。

'Purpose in Life' as a psychosocial resource

Nia Fogelman and Turhan Canli

健康な加齢の社会心理学的手段としての「生きる目的」

Markers of T-cell senescence and physical frailty: insights from Singapore

Longitudinal Ageing Studies

Tze Pin Ng, Xavier Camous [...] Anis Larbi

T細胞老化のマーカーと身体的フレイル：シンガポールの長期的加齢研究からの洞察

Defining molecular basis for longevity traits in natural yeast isolates

Alaattin Kaya, Siming Ma [...] Vadim N Gladyshev

天然酵母分離株の長寿形質の分子基盤を明らかにする

***npj Aging and Mechanisms of Disease* について :**

npj Aging and Mechanisms of Disease は、ヒトにおける加齢のプロセス、加齢関連疾患、加齢に関連した病態生理の疫学、長寿に関するメカニズムの理解および介入など、全ての関連分野の研究の原著論文及び総説を選考の対象とします。また、この新しいジャーナルは、新たに明らかとなりつつある加齢に関連する医学（幹細胞、概日リズム、代謝）にも重点を置き、臨床及びトランスレーショナル・リサーチの視点からヒトへの応用を探るジャーナルです。

詳細は、右記サイトでご確認ください。 <http://www.nature.com/npj/>

この件に関するお問い合わせ : Christine Sugiyama / Eri Kubota (杉山クリスティン / 久保田恵里)

press-antiaging@mediproduce.jp

tel: +81-(0)3-5775-2075